

請願第 40号

平成24年 3月12日

川崎市議会議長 大島 明 様

中原区

小杉御殿団地管理組合

ほか1団体、1,216名

「(仮称)小杉町二丁目開発計画」に関する請願

請願の要旨

昨年11月、小杉町二丁目228番1ほか4筆の土地に、地上54階・地下1階、高さ190m(塔屋10mを含む。)の建物2棟の建築計画が明らかになりました。事業者及び市は、都市計画マスタープランや「川崎再生フロンティアプラン」などの上位計画に基づいて、地区計画による開発を行うと説明しています。

しかし、当該地域はマスタープランでは、「医療・文教のゾーン」以上の計画像は示されていません。近隣住民はマスタープランの具体像を示されないまま、突然超高層ビル計画を知りました。近隣は第一種住居地域で、中低層住宅が近接しており、計画地も約3分の2が第一種住居地域に指定されています。本計画は第一種住居地域の制限から大きく越えており、日影や風害、景観阻害、狭い土地(約1.7ha)への大幅な人口増(1,280世帯)による公共交通機関や道路の混雑、交通渋滞、更には現在でも問題視されている小杉地域のヒートアイランド現象の進行など、近隣への影響が予想されます。

加えて、武蔵小杉駅周辺の他の再開発事業との複合的な影響も懸念されます。

事業者に対し計画の見直しを指導していただくとともに、市が近隣住民の生活環境に配慮した計画決定を行うよう、働きかけていただきますよう請願いたします。

請 願 項 目

- 1 今回の建築計画は、日影・風害・景観・排熱に加えて、ペDESTリアン・デッキなどの設置に伴う近隣住宅のプライバシー・防犯上の問題、また市道小杉1号線側駐車場出入口設置による信号前渋滞などの問題が懸念される。本建築計画に近隣住民の意見を反映させるよう事業者働きかけること。
- 2 地区計画の決定に当たっては、近隣住民の意見を十分に聴取する場を作り、近隣住民の生活環境に配慮した計画にするよう、市当局に働きかけること。
- 3 武蔵小杉駅周辺において計画及び予定されている他の計画事業についても、市が早急に具体的な計画像を示し、生活環境の影響を受ける近隣住民の意見を計画段階で反映させていけるよう、市に働きかけること。及び、市当局や市議会において、周辺住環境も含めた武蔵小杉地区の再開発の検証を行っていくこと。

紹介議員

原	典之
吉岡	俊祐
潮田	智信
市古	映美
松川	正二郎
三宅	隆介
猪股	美恵